

カスタムコンプリートとして新車販売されるTC88の魅力

OHV最強のツインカム88
カスタムする楽しさもイッパイ

1936年にナックルヘッドで始まったハーレーダビッドソンのOHVの歴史は、パンヘッド、ショベルヘッド、エボリューションを経て、1998年デビューのツインカム88に受け継がれた。H-Dフラッグシップのビッグツインは、誕生からすでに65年以上が経過しているわけだ。長いビッグツインの歴史で、ハーレーダビッドソンのOHVエンジンはゆつくりと着実に進化してきた。ショベルがエボリューションだったわけだが、そのEVOが15年の長きにわたり継続されたあと、1998年にデビューを果たしたのがツインカム88だ。はじめにFL、FXDに搭載され、2000年モデルからバランス付きの88Bが登場。これでFXS—ソフテイル系など、すべてのビッグツインが88キュービックインチ(1450cc)、各気筒あたりに1本のカム、つまりツインカムの88エンジンを搭載したラインナップが完成されたのだ。

そんなツインカム88も、デビューしてすでに5年近くが経過した。OHVビッグツインの中では間違いなく最強、そして最高の存在である。排気量もこれまでで最高の1450cc、EVOに比較すればショートストロークとなったエンジンは、パワーもトルクも申し分ない数値をたたき出す。それに合わせてブレイキやサスペンションなど、年ごとに格段の向上を果たしているのは当然のこと。ここまで来るとカスタムは外装だけで、と考えればいいような気がするのだが……。それでも、エンジンをチューンしたり、フレームをいじったり、カスタムする輩はいくらならないのがオモシロイ。どんなモデルでも、やっぱりストックだといやだという人は後を絶たないのか?! 前のページまでで紹介したように、ツインカムベースのカスタムマシンは増殖中だが、ここでチョット違ったカスタムマシン——ディーラーコンプリートの登場に注目してみた。

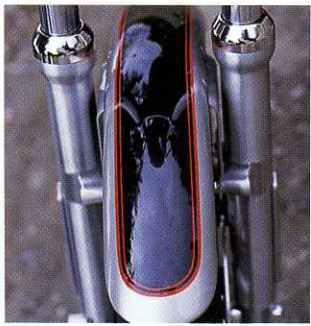
はじめからある程度カスタムが
施された格安な仕様がボビュラー

ディーラー・コンプリートとは、その名の通りハーレーダビッドソンジャパン正規販売網のショップが独自に手がけたカスタム車両なわけだが、ベース車両は新車というのが大きな特徴だろう。つまり新車の状態で外装はもちろん、足回りから吸排気系までをカスタムしたものである。

新車を買った時点で、すでに自分の希望に近いカタチにカスタムしてあるのだから、ユーザーにとつては非常に魅力的であるのは言うまでもない。購入直後にマフラーとハンドルの、それにウインカーを交換したなんていうハナシはよく聞く。このユーザーが換えたいと感じる箇所をいち早く察知してフォローしているのが、ディーラー・コンプリートというわけだ。そのためコンプリートとしての新車価格の中にはカラーリングも含んでしまっているケースも多く、パーツとカラーリングが

変更されて、車両価格と込みの値段で購入できる。ユーザーが購入後に自分でペイントするよりは、非常に安価に設定されているからリーズナブル。このページ左のレインボーFXDLにしても、1978年FXSローライダー風にしたいな……というユーザーには、飛びつきたくなるようなモデルである。しかし、カスタムというのはオーナー自身が自分の好みに合わせてつくるとするのが最大の醍醐味。だからアレモコレモソレ……と、なんでもかんでも換わっていったらイヤというわけではない。そこはコンプリートマシンをつくるディーラーもしっかりわきまを置いて、外装は好みで選べるが、エンジン内部に手が入ったものはほとんどない。やはり「使う人がキマッてから……」というのが、ディーラー側のコンプリートのつくり方だ。希望に近いカタチを最初から手に入れられるなんて、イイ時代になったもんだ!

FXD ユーザー・ローライダー



H-D RAINBOW

取材協力: ハーレーダビッドソン レインボー phone 0298-22-6666

茨城県ハーレーダビッドソンレインボーはフレアカラーのソフテイルが定番コンプリート車両になってきた感があるが、今回ニューカマーが登場。ショベルローライダーレプリカのFXDLとビンテージイメージを感じさせるヘリテイジソフテイルだ。

FXDL ヘリテイジ・ソフテイル



こちらのヘリテイジはハンドルをファットボーイに交換。エンジンガード、サドルタイプシート、リアキャリアなど純正アクセサリを採用している。なんといってもビンテージなカラーリングがいいね。価格は259万円。

3
コンプリート販売価格 ■ **239万円**

FXDL ダイナ・ローライダー



コンプリート販売価格 ■ **259万円**

FXSTC ヘリテージ・ソフテイル

